

乗り物を通して 機械工学を学ぶ

交通機械工学科は「交通機械」に軸足を置きながら、時代の要求に呼応するため「知的ものづくり」を目標にハード面だけでなく、ソフト面も重視した視野の広い教育・研究を行っています。機械一般の基礎知識だけでなく、創造力と人間性ゆたかなエンジニアを育てる目的としています。

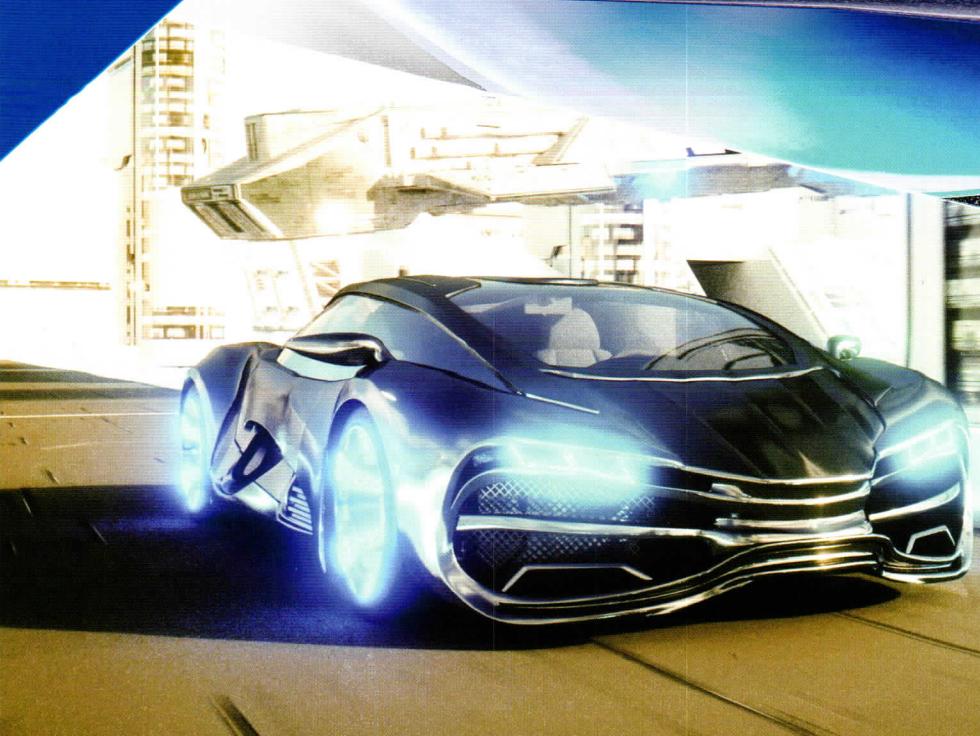
名城大学理工学部
交通機械工学科



鉄道車両



航空宇宙



自動車

交通機械工学科の特色ある講義



自動車工学I・II・III

自動車の基本構造と性能について学ぶ科目。自動車の「走る、曲がる、止まる」の3つの特性について基本的な運動性能、この性能を決定するタイヤの力学を学びながら自動車の安全の限界を知ることによって安全対策への意識向上をねらいます。



航空宇宙工学I・II・III

航空機の機体形状から空力特性、高速空気力学、衝撃波理論、ロケット工学の基礎、人工衛星の打ち上げと軌道など、航空工学に関する基礎知識をマスターするとともに、工学的応用力の修得に努める授業を行います。



鉄道車両工学I・II

鉄道の歴史や車両の工学メカニズム、および次世代の鉄道システムなど鉄道技術者として必要となる基礎知識を身につける。特に鉄道は、車両、軌道、信号、電力などの複数の分野にまたがって機能するシステムとしての理解を深めることができます。

乗り物に特化した様々な研究



省エネカー

ガソリン1ℓで2000km以上走行できる競技車両を製作しています。エンジンおよびホイールの摩擦低減に関する研究成果を競技車両に適用しています。



フライトシミュレーター

AI技術を用いて、様々な飛行条件においても同様の操縦性を保つ研究などに、フライトシミュレーターを活用しています。



大型風洞装置

最大風速55m/s(=200km/h)の風洞を用いて、高速列車の空気抵抗、空気による騒音や動揺、横風安定性などの研究を行っています。

就職に強い!!

高い
就職率

大企業への
就職者多数

東海地方への
就職者も多数

名城大学理工学部
交通機械工学科

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
TEL(052)832-1151【内線5140】
FAX(052)832-1235

詳細はホームページでご紹介しています。
ぜひご覧ください!!

<https://meijo-koutsu-kikai.jp/>

スマートフォンはこちらから

